

1. 前回の協議会での健康推進課からの提案事項

協議会の中で、「平時から準備が必要な点、実際に課題として挙げられる点について」情報共有を図りたい。

【今後スケジュール】

	7年度	8年度	9年度
区協議会(R7年3回)	体制整備の課題整理 (協議会意見・その他) →		
地域の支援機関 (医療機関・福祉等)		支援機関における実効性のある体制整備 →	
精神障がい者・区民		区民への情報周知と自発的な備え →	

【課題として考えられること】

- #①医療機関間の平常時・非常時の取組(例えばBCP)について情報共有。
 - 各病院でどういったBCPを作成しているか。好事例の紹介やBCPを病院間で共有することが可能か。
 - #②調剤薬局の平常時・非常時の取組(例えばBCP)について情報共有。
 - 各薬局でどういったBCPを作成しているのか。好事例の紹介やBCPをそれぞれの機関で共有することが可能か。
 - #③区民や精神障がい者が、震災等の非常時に困らないため、事前準備が必要なことを分かりやすく周知する手法について。
 - ◀事前準備が必要なもの▶
 - お薬手帳を持っている
 - 処方箋、お薬の説明が書かれた用紙
 - 主治医の連絡先
 - ◀周知方法▶
 - 区ホームページ
 - 自立支援申請時に案内配布
 - 支援機関からの周知
- 事前準備や周知方法について、委員の皆様からご意見をいただきたい。

2. 前回の協議会でいただいたご意見

①精神科医療機関(区内A病院)

他の精神科病院の
取り組みはどうだろうか？

- ・BCPは各病院で作成。定期的な更新はされていない状況。
- ・災害時は入院患者対応が優先される傾向
- ・医師は約1/3、看護スタッフは半数以上が緊急時に駆けつけ可能

②薬局

- ・BCPは、薬剤師会と各薬局それぞれある。
- ・災害発生後72時間は通常調剤が困難(災害拠点病院・医療救護所活動が優先)
- ・各自が最低3日分の薬を確保しておくことが重要